

第5次レッドデータブック：
絶滅のおそれのある日本の野生生物

The 5th Red Databook, Threatened wildlife of Japan

ワダツミノキ

Nothapodytes amamianus

日本植物分類学会

絶滅のおそれのある野生生物の選定・評価検討会 維管束植物分科会



令和7（2025）年3月



この文献はクリエイティブ・コモンズ 表示-非営利-改変禁止 4.0 国際ライセンスの下に提供されています。

<https://creativecommons.org/licenses/by-nc-nd/4.0/deed.ja>

種毎の解説を引用する場合には以下のように記述してください。

引用表示：日本植物分類学会. 2025. ワダツミノキ. 環境省（編） 第5次レッドデータブック：絶滅のおそれのある日本の野生生物.

Citation: Japanese Society for Plant Systematics. 2025. *Nothapodytes amamianus* Ministry of the Environment, Japan (ed.), *The 5th Red Databook: Threatened wildlife of Japan*.

ワダツミノキ

*Nothapodytes amamianus***カテゴリー判定結果** 絶滅危惧 I A 類 (CR) 基準 E

10 年間の絶滅確率が 50%以上。

評価分科会： 維管束植物分科会

基礎情報

【形態】

高さ約 10 m。葉柄は長さ 4-8 cm、まばらに毛がある。葉身は長さ 8-23 cm、長楕円形～卵形ないし円形、薄い革質、側脈は 6-7 対ある。花は多数つく。花弁は長楕円形～線形、反り返り、白色。核果は長さ約 10 mm、やや扁平な楕円形、鈍く 2 稜がある。

【生活史】

常緑小高木。

【生育環境】

海岸近くの山林に生育。

【分布域】

奄美大島に分布。

現在の生育状況

【生育地の現況】

2018 年調査では 1 メッシュで数十個体の現存が推定された。基準 E により CR とした。

現地調査の集計結果 2018 年調査

【「現存する株数」別のメッシュ数】

<10	<50	<100	<1000	<10000	>10000	合計	絶滅	その他
0	1	0	0	0	0	1	0	0

【存続を脅かす要因上位3項目の件数】

1 番目	2 番目	3 番目
要因		
件数		

特記事項

特になし

旧レッドリストカテゴリーと掲載名

第4次 2020:	ワダツミノキ	<i>Nothapodytes amamianus</i>	CR
第4次 2019:	ワダツミノキ	<i>Nothapodytes amamianus</i>	CR
第4次 2018:	ワダツミノキ	<i>Nothapodytes amamianus</i>	CR
第4次 2017:	ワダツミノキ	<i>Nothapodytes amamianus</i>	CR
第4次 2015:	ワダツミノキ	<i>Nothapodytes amamianus</i>	CR
第4次:	ワダツミノキ	<i>Nothapodytes amamianus</i>	CR
第3次:	ワダツミノキ	<i>Nothapodytes amamianus</i>	CR
第2次:	—	—	—
第1次:	—	—	—

都道府県レッドリスト・レッドデータブック掲載状況（令和4年度末時点）

鹿児島県[絶滅危惧 I 類]

保護に係る法令指定状況（令和4年度末時点）

指定なし

参考文献

- 大橋広好・門田祐一・邑田仁・米倉浩司・木原浩（編），2017. 改訂新版日本の野生植物 4. 348pp., 256pls. 平凡社，東京.

アセスメントサマリー（Assessment summary）

Nothapodytes amamianus has been assessed for threatened wildlife of Japan Red List 5th edition. *Nothapodytes amamianus* is listed as CR under criteria E.

E. Quantitative analysis showing the probability of extinction in the wild is at least 50% within 10 years.

Threat types:	No Data
---------------	---------

Law designation status for conservation	—
---	---

執筆者:	日本植物分類学会
Author:	Japanese Society for Plant Systematics

公表年月：2025 年 3 月